

# OCAMI Reports 作成要領

(2021 年 4 月 22 日 版)

## 1 報告集 (OCAMI Reports) 作成要項

大阪市立大学数学研究所 (OCAMI) の共同利用・共同研究課題に採択された、提案者・研究代表者 (以下、「研究組織者」とよぶ) は、研究計画を遂行した場合や研究集会等を開催した場合には、以下の要領で報告集 (OCAMI Reports) を作成してください。

### 1. 冒頭部分 (必須事項):

#### (1) 表紙:

- 研究計画/研究集会の名称
- 期間
- Mathematics Subject Classification, Keywords and phrases
- 研究組織者 (Organizers) 名

#### (2) 研究組織者による序文 (Preface):

以下のような内容を含めてください。

- その目的
- どのような活動を行ったか
- どのような成果が得られたか

※ (1)・(2) については、OCAMI の提供するフォーマット `main.tex` を利用して作成してください。**PDFLatex 版 (英語入力のみ対応)** と **LuaLatex 版 (日本語および英語入力に両対応)** との 2 種類を準備しております。用途に合わせてお選びください。

### 2. 本体部分 (自由様式)

報告書の本体 (中身) 部分の形式につきましては、研究組織者が自由に作成してください。

中身の例として、

- 研究発表アブストラクトを集約する (事後の加筆をしてもらってもよい)
- 研究発表スライドを掲載する
- もっと詳しいものを書いてもらってもよい

などをあげておきますが、これにこだわる必要はありません。研究組織者におまかせします。

## 2 注意事項

1. OCAMI Reports の番号 (Vol.) は、OCAMI が割り当てます。
2. 報告集 (OCAMI Reports) は、大阪市立大学の機関レポジトリに登録され、DOI が付与されます。
3. OCAMI Reports は、OCAMI 共同利用・共同研究拠点のウェブページで公開されます。

## 3 参考

● OCAMI は、冒頭部分のフォーマット (`main.tex`) と連携した、研究発表アブストラクト作成用のフォーマット `abstract.tex` を用意しています。このフォーマットを利用していたいても構いません。

※ `main.tex` を用いて、各研究発表者の `abstract.tex` ファイルや、研究発表スライド等の PDF ファイルを報告書の本体部分に取り込むことができます。

※ また、その場合に、目次を作成するための手順が用意されています。